

## 『古今和歌六帖』の「萬葉歌人」一覽

池 原 陽 斉

およそ四千五百首をおさめる大部な類題和歌集である『古今和歌六帖』は、その四分の一ほどにあたる約一千百首を『萬葉集』所収歌（類似歌）が占めている。<sup>(1)</sup>完成は貞元元年（九七六）九月以降と推定される。<sup>(2)</sup>近い時代に編纂されたと思しき、まとまった数の萬葉歌を採取する歌集としては、ほかに勅撰集の『後撰和歌集』や『拾遺和歌集』、私撰集の『和漢朗詠集』、私家集の『人麿集』や『赤人集』、『家持集』などが存するが、これら諸歌集のなかでも、千を超える萬葉歌をおさめる『六帖』の価値はひときわ大きい。

その『六帖』所収の萬葉歌の性格については、『萬葉集』から抜き出されたと見做される場合も多いが、萬葉歌と歌句の相違が著しいたも少なくないことから、伝誦歌が相当数混入しているとの見方もしめされている。<sup>(3)</sup>ことの是非は、十一世紀後半をさかのぼる『萬葉集』の伝本が現存しないこと、<sup>(4)</sup>伝本系統が決して多様とはいえないこと<sup>(5)</sup>などを考慮すると、平安時代中期における『萬葉集』伝来の実態を考えるに際して大きな問題といつてよい。

そして、この点を検討するにあたっては、歌句とともに『六帖』の作者名表記も看過できない材料といえる。『萬葉

集』にかぎらないが、採取元資料と『六帖』の作者名が一致するか否かは、両者の関係をあきらかにするにあたって重要な傍証となる可能性を持つ。

しかし、この作者名表記にも種々の問題がある。『萬葉集』や『古今和歌集』など、採取元と考えられる歌集と作者名が一致しない、漢字・かな表記が一定しない、作者名表記が勅撰集のようにうたの前に書かれるかとおもえば、『和漢朗詠集』のように後ろに書かれることもあり、はたまた「以上貫之」(第四帖・二四六三)、「以上七首つらゆき」(第六帖・四四三二)のような異例の書式も存する。あるいは「つらゆき」(第六帖・四〇三五)と作者名をしめした後で、「おなじ」を四度続ける(四〇三六・三九) こともあるといった具合で、規則性をみとめることが極めて困難となっている。少なくとも『六帖』の作者名表記は、一度に整然と記されたものではない可能性がたかい。

そもそも『六帖』には、編纂段階では作者名が附されていなかった可能性も指摘されている。片桐洋一が『古今六帖』の作者名表記が成立当初からあったかどうか決し難い」と留保つきながら述べたのは、編者と作者名との関係を疑うもつとも早いものである<sup>(8)</sup>。ついで平井卓郎、田辺俊一郎も疑義を呈し、熊谷直春は作者名表記の揺れや、『六帖』の古筆切に作者名を缺くものがあることなどを根拠に、なかったと断じている<sup>(9)</sup>。

たしかに、十三世紀前半の書写と推定される伝坊門局筆切には、永青文庫本・桂宮本といった定家本(家長本)系統の写本には存する作者名表記が一切ない。『六帖』の最古写本は文禄四年(一五九五)書写の永青文庫本であり、他の本はすべて近世までくだるから、それよりもかなり古い年代に書写された写本の断簡に作者名が存在しないという事実は、『六帖』の作者名表記の変転を考えるにあたっては重要な意味を持つ。

だが、古筆切の中でも現存最古の十一世紀前半書写と推定される伝藤原行成筆切をはじめとして、伝慈円筆白砂切<sup>(10)</sup>(鎌倉時代初期)、伝慈円筆四半切<sup>(11)</sup>(鎌倉時代中後期)、伝民部卿局筆切(鎌倉時代中後期)、伝九条教家筆切<sup>(12)</sup>(鎌倉時



(6) 熊谷直春「古今和歌六帖の成立」、同「古今和歌六帖の作者名表記」(『古今集前後』武蔵野書房・二〇〇八、初出はいずれも二〇〇五)はこの点を問題とし、『六帖』の作者名が後補であることの傍証のひとつとする。しかし、本表のナンバー3、49などの備考にしまったとおり、定家本を祖本とする永青文庫本と桂宮本でも漢字・かなの表記は相違する場合があり、表記の揺れがあることは事実として、成立に直結させる熊谷の指摘は必ずしも適切でない。

(7) 田辺俊一郎『古今和歌六帖』本文攷——作者名表記論断章(『中古文学』第四十号・一九八六)

(8) 片桐洋一『後撰集』の本性(『古今和歌集以後』笠間書院・二〇〇〇、初出一九五六)

(9) 平井卓郎『古今和歌六帖の研究』(明治書院・一九六四、パルトス社復刻版(一九九二による)、田辺『古今和歌六帖』試論——作者名表記の一問題(『人文論叢』第二十二輯・一九八二)

(10) 前掲(6)

(11) 小松茂美『古筆学大成』第十六卷(講談社・一九九〇)所収。書写年代は所収書籍の推定による。

(12) 前掲(11)

(13) 前掲(11)、久曾神昇編『私撰集残簡集成』(汲古書院・一九九九)、国文学研究資料館編『古筆への誘い』(三弥井書店・二〇〇五、田中登編『平成新修古筆資料集成』第四集(思文閣出版・二〇〇八)所収。

(14) 藤井隆・田中登編『国文学古筆切入門』(和泉書院・一九八五)所収。

(15) いずれも前掲(11)所収。

## 〔附記〕

本年三月に江富範子先生がご退職された。同じ学科に勤めることのできた期間はわずか一年と短かったが、専攻の時代を同じうする先達であり、種々ご指導ご鞭撻をいただいた。記して深謝申しあげる次第である。先生がご寄稿される本号に拙文を掲載できたこと、望外の喜びである。

(本学専任講師)

## 〔凡例〕

一、本一覧は『古今和歌六帖』を「和歌&俳諧ライブラリー」（古典ライブラリー）所収の「新編国歌大観」本文（底本は桂宮本）、『萬葉集』を木下正俊『萬葉集 CD-ROM 版』（塙書房・二〇〇一）の本文にもとづき作成した。

一、萬葉歌人を作者とする六帖歌を基準に作成したため、対応する萬葉歌が存在しないこともある。その場合、『萬葉集』の欄は空白とした。

一、『六帖』については以下の画像データ・翻刻・影印・テキストを参照し、適宜必要な情報を補った。具体的な補足内容については「備考」を参照のこと。

・国文学研究資料館「新日本古典籍総合データベース」の『古今和歌六帖』（資料 ID : 100061415）

・宮内廳書陵部編『圖書寮叢刊 古今和歌六帖』上（養徳社・一九六七）

・永青文庫編『細川家永青文庫叢刊 古今和歌六帖』上・下（汲古書院・一九八二〜八三）

・小松茂美編『古筆学大成』第十六卷（講談社・一九九〇）

※所収の「伝藤原行成筆古今和歌六帖切」、「伝九条教家筆古今和歌六帖切」を参照した。

・古今和歌六帖輪読会『古今和歌六帖全注釈』一〜三（お茶の水女子大学附属図書館 [E-book サービス]）

・室城秀之『和歌文学大系 古今和歌六帖』上（明治書院・二〇一八）

一、『萬葉集』については佐竹昭広ほか編『校本萬葉集 新增補』（岩波書店・一九七九〜九五）、井手至・毛利正守編『新校注 萬葉集』（和泉書院・二〇〇八）を参照し、適宜必要な情報を補った。

一、『六帖』の作者名は本文の表記のとおりに提示した。

一、『萬葉集』の作者名は、姓名など通行の表記で提示し、『萬葉集』の表記どおりとはしなかった。同集の表記が一樣でないための措置である。ただし、『萬葉集』の表記が『六帖』の作者名を判断するにあたって参考になると判断した場合には、題詞・左注などを備考にしめた。

一、「備考」にしまった歌集の略記号は以下のとおり。

・萬……萬葉集　・六……古今和歌六帖　・人……人麿集　・赤……赤人集　・家……家持集  
・歌……歌經標式　・古……古今和歌集　・後……後撰和歌集　・拾……拾遺和歌集　・新……新撰和歌  
・和……和漢朗詠集

歌番号は原則「和歌&俳諧ライブラリー」(古典ライブラリー)所収の「新編国歌大観」による(『萬葉集』のみ旧番号)。略記せぬ歌集も同様である。ただし、『歌經標式』と『人麿集』はつぎの文献に依拠した。

・歌經標式……沖森卓也ほか『歌經標式 影印と注釈』(おうふう・二〇〇八)

・人麿集……萬葉歌については歌番号を記さなかった。池原・藤原洋治・朝比奈英夫編『萬葉集』及び『人麿集』五系統歌番号対校表——附・大東急記念文庫蔵「人丸集」翻刻』『古代中世文学論考』第三十四集・新典社・二〇一七)を参照。非萬葉歌については、一類本は「新編国歌大観」、二～四類本は「新編私家集大成」、五類本は前掲池原・藤田・朝比奈論文にもとづき、番号を提示した。なお、一～五類本(一覽ではⅠ～Ⅴ)の伝本系統の分類は藤田「人麿集」(『和歌文学大辞典』古典ライブラリー)による。

二、『赤人集』の排列は『萬葉集』巻十の前半(二八二～二〇九二)とほぼ一致するので、この範囲に関しては、備考に『赤人集』所収である旨を逐一注記しなかった。巻十前半部以外の相当歌は備考にしまった。『赤人集』所収の『萬葉集』巻十歌については拙稿「萬葉集巻十および赤人集三系統対校表」(『萬葉集訓読の資料と方法』笠間書院・二〇一六、初出二〇一三)を参照のこと。

No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号 作者名	巻	番号 作者名	
1	1	6 大伴坂上郎女	8	1433 大伴坂上郎女	
2	1	7 志貴王子 かみみの王女とも	8	1418 志貴皇子	萬 1419 の作者が鏡王女
3	1	14 山邊赤人	10	1843	永青文庫本「山邊あか人」／人Ⅱ・Ⅲ／家 2／拾 3、作者は赤人／和 77、作者は入麻呂
4	1	21 あか人	10	1832	人Ⅲ
5	1	23 あか人	8	1441 大伴家持	六 24 作者名「やかもち」／後 34／拾 11、作者は家持
6	1	24 やかもち	19	4290 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示
7	1	36 大伴やかもち	20	4493 大伴家持	
8	1	43 あか人	8	1427 山部赤人	人Ⅱ・Ⅴ／赤 354／新 23／和 36、作者は赤人
9	1	50 やかもち	20	4494 大伴家持	
10	1	60 やかもち	19	4153 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示／六、萬と同種の詞書有
11	1	107 人丸 或本	10	1995	人Ⅰ～Ⅲ／拾 825
12	1	117 八代王女	4	626 八代女王	永青文庫本「八代女王」。ただし「王女」に語順を入れ替える旨の記号あり
13	1	134 人丸	10	2013 人麻呂歌集	萬 2033 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ
14	1	136 人丸	10	2055	人Ⅰ・Ⅱ／後 239／拾 144、作者は入麻呂／和 218、作者は入麻呂
15	1	144 人丸	10	2001 人麻呂歌集	萬 2033 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ
16	1	146 ひとまろ	10	2022 人麻呂歌集	萬 2033 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ
17	1	163 ゆけのおう ゆはら大きみ 或本	8	1544 湯原王	拾 147、作者は湯原王
18	1	198 人丸			人Ⅱ 158・Ⅲ 188・Ⅳ 79
19	1	232 やかもち	20	4490 大伴家持	
20	1	251 人まろ 忌部首黒磨 或本をとくろ	7	1068 人麻呂歌集	永青文庫本「人丸」／人Ⅰ～Ⅴ／拾 488、作者は入麻呂
21	1	334	7	1079	人Ⅱ・Ⅳ
22	1	342 はしうとのおほそら	8	1763 沙弥女王	萬左注「右一首間人宿称大浦歌中既見但未一句相換亦作歌兩主不敢正指因以累載」。萬 290 に間人大浦の小異歌あり

六帖			萬葉集		
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名	備考
23	1 343	ゆけのわう	6 985	湯原王	
24	1 346	安郡屏娘女	4 710	安郡屏娘子	
25	1 347	あへのむしまろ	6 980	安倍虫麻呂	
26	1 351	坂上らう女	6 993	大伴坂上郎女	
27	1 352	やかもち	6 994	大伴家持	
28	1 356	いへのをとくろまる	7 1073		六の作者、忌部首黒磨か／人Ⅱ・Ⅳ
29	1 358	あか人	10 1874		人Ⅲ
30	1 364	人まろ	10 2300		人Ⅰ～Ⅴ／拾 795、作者は人麻呂
31	1 371	大宅娘女	4 709	豊前国娘子大宅女	
32	1 425	人まろ	10 2350		人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／家 172
33	1 443	おほとものかたみ よしみねのむねさたイ	4 664	大伴像見	拾 765、作者は 大伴形見／新 664／継色紙 20
34	1 453	あか人	10 1877		人Ⅲ
35	1 491	人まろイ	10 2235		萬 2234 左注 「右一首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅲ
36	1 495	人まろ	10 2094	人麻呂歌集	萬 2095 左注 「右二首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
37	1 518	人まろ 或本	3 242	弓削皇子	萬 244 或本歌左注 「右一首柿本朝臣人麻呂之歌集出」。242～43は 同一歌群
38	1 519	人丸			人Ⅲ 677・Ⅳ 102
39	1 520	おなじ人 (人丸)	10 1923		人Ⅳ
40	1 533	人まろ			人Ⅱ 206・Ⅲ 212・Ⅳ 17
41	1 534	おなじ (人まろ)			人Ⅳ 55 に類歌
42	1 545	やかもち	10 2173		人Ⅱ
43	1 555	やかもち	10 2168		人Ⅰ・Ⅱ
44	1 589	おほともの王子	2 107	大津皇子	
45	1 590	石川女郎	2 108	石川郎女	六「郎」の右に「わうイ」
46	1 598	ひとまろ	7 1241		永青文庫本「人丸」／人Ⅱ～Ⅳ
47	1 632	人まろ	10 1892	人麻呂歌集	萬 1896 左注 「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ



No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号 作者名	巻	番号 作者名	
48	1	678 をとくろ	10	2132	六の作者、忌部首黒麿か／人Ⅰ・Ⅱ／家 249
49	1	693 人まろ			永青文庫本「人丸」／古 621 左注「この歌はある人のいはいはく柿本人麿か歌なり」
50	1	719 左大臣橘諸兄	20	4454 橘諸兄	萬 4456 左注「右二首左大臣読之云尔左大臣是葛城王後賜橘姓也」。
51	1	739 あか人	8	1426 山部赤人	4454 ～ 56 は同一歌群／家 152
52	1	831 ひとまろ	7	1332	人Ⅱ／後 22／赤 3／家 11／和 94、作者は赤人
53	2	832 人まろ	10	2239 人麻呂歌集	萬 2243 左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅱ・Ⅲ
54	2	835 をだのことぬし	3	291 小田事	六、前歌の作者「ふゆのことぬし」。
55	2	836 大伴良女 おなし			催馬楽 37 に類似の歌謡あり
56	2	837 いしかはの良女	7	1097	永青文庫本「いしかはのらう女」／人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／拾 818、作者は人麻呂
57	2	841 人まろ	3	242 弓削皇子	萬 244 或本歌左注「右一首柿本朝臣人麻呂之歌集出」。242 ～ 43 は同一歌群
58	2	849 たちまのわう女			家 248
59	2	850 ひとまろ	7	1140	元永本古今集にあり。作者は猿丸大夫（国歌大観番号 408 の後）
60	2	859 たけちのくろ人	3	279 高市黒人	
61	2	865 いちはらのおほ君			古 382、作者は躬恒
62	2	872 人まろ	9	1708 人麻呂歌集	萬 1709 左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集所出」
63	2	909 あか人	3	321 高橋虫麻呂	萬、前後の歌群の作者は赤人。虫麻呂の名は左注に見える
64	2	921 みはらのおほきみ	8	1543 三原王	新 40
65	2	922 いそその神のおとまろ	3	374 石上乙麻呂	
66	2	932 人まろ	4	502 柿本人麻呂	人Ⅰ～Ⅳ
67	2	946 人まろ	10	2148	人Ⅰ～Ⅲ
68	2	956 忠貴皇子	3	267 忠貴皇子	永青文庫本「忠貴皇子」
69	2	1000 やかもち			
70	2	1036 山のうへのをくら	8	1602 大伴家持	
71	2	1048 きのらう女	9	1730 藤原宇台	

六帖			萬葉集		
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名	備考
72	2 1052	おほとものらう女			永青文庫本「おほとものら女」。古 209 に類歌
73	2 1060	いつのおとくるまろ			六の作者、忌部首黒磨か／古 253 に類歌／家 233
74	2 1069	やかもち	13 3287		
75	2 1073	人まろ	10 2309		人 I ～ V / 拾 1135
76	2 1111	なつのゝ人まろ	9 1710	柿本人麻呂	六「なつのゝ」は題「なつのた」の混入／萬 1711 左注「右二首或云柿本朝臣人麻呂作」／人 I ～ III・V / 拾 1123、作者は人麻呂
77	2 1116	いはひめのきさき	2 88	磐姫皇后	萬題詞「但馬皇女在高市皇子宮時思德積皇子御作歌一首」
78	2 1121	ほつみのわうし	2 114	但馬皇女	六、伝藤原行成筆切「天地天皇の御歌」。歌の後にあり／後 302 「天智天皇御製」／萬 2178 に類歌
79	2 1129	天地天皇御			六、伝藤原行成筆切「人丸」。歌の後にあり／古 208
80	2 1131	人まろ			人 I ～ IV
81	2 1141	ひとまろ	4 502	柿本人麻呂	
82	2 1162	やかもち	20 4320	大伴家持	
83	2 1166	きのいひまろ	19 4257	船王	萬題詞「十月廿二日於左大辨紀飯麻呂朝臣家宴歌三首」左注「右一旨治部卿船王傳誦之久述京都時歌未詳作主也」／六の題「左大弁」
84	2 1182	やかもち	19 4148	大伴家持	萬は卷末尾に作者名を一括表示
85	2 1190	やかもち	4 775	大伴家持	
86	2 1192	さみかうた	8 1558	沙弥尼	萬 1559 左注に「右二首沙弥尼等」あり／家 125 / 和 228 に類歌、作者は丹比国人
87	2 1200	やかもち			
88	2 1222	山のうへのをくら	8 1537	山上憶良	永青文庫本「山のうへのおくら」／六の次歌も萬の憶良歌 (1538)
89	2 1226	うみの上女わう	4 531	海上王	永青文庫本「うみのうへの女わう」。『うへ』の右に「上」あり／萬異同あり。『海上女王』とも
90	2 1227	左大臣たちはなのあそむ	19 4270	橘諸兄	萬左注「右一旨左大臣橘卿」
91	2 1228	右大弁やつか山	19 4271	藤原八束	萬左注「右一旨右大弁藤原八束朝臣」
92	2 1233	大ともの大納言やす丸	19 4261		萬 4260 左注「右一旨大將軍贈右大臣大伴卿作」
93	2 1237	おほとものよつな	3 330	大伴四綱	家 45
94	2 1243	大さいのそちをのゝ	3 328	小野老	萬題詞「大宰少貳小野老朝臣」

No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号 作者名	巻	番号 作者名	
95	2	1247 おとまる	20	4462 大伴家持	「をとくろ」か。No.21 参照／萬の作者認定は伝本によって相違あり
96	2	1248 ひとまる	11	2382 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ
97	2	1252 人まろ	13	3234	
98	2	1254 中納言いしかはのとしなり	19	4274 石川年足	萬左注 「右一宮式部卿石川年足朝臣」／年足は天平勝宝9年(757)に中納言。萬葉歌は天平勝宝4年の作
99	2	1255 人まろ	12	2425 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅴ／拾 1243、作者は人麻呂
100	2	1267 木の女わう			紀皇女か
101	2	1276 ひとまる	2	132 柿本人麻呂	人Ⅲ
102	2	1282 人まろ	9	1711 柿本人麻呂	萬 1711 左注 「右二首或云柿本朝臣人麻呂作」／人Ⅲ
103	2	1298 きよむらのみかと	2	103 天皇(天武天皇)	
104	2	1299 いしかはのひろなり	4	696 石川広成	
105	2	1327 人まろ	12	2405 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
106	2	1334 きのわう女	11	2799	永青文庫本「きのらう女」
107	2	1335 人まろ	11	2551	萬 2947 に類歌／人Ⅱ・Ⅳ
108	2	1340 やかもち			古 1079
109	2	1353 やかもち	4	778 大伴家持	
110	2	1379 めかたのみこ	4	488 額田王	萬 1606 に重載。作者は額田王／家 90
111	2	1407 いしかはのひめ	2	129 石川女郎	
112	2	1409 やかもち	4	764 大伴家持	
113	2	1411 いへのおとくろまろ	12	2991	六の作者、忌部首黒磨か／人Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ／古坂名序／拾 895、作者は人麻呂
114	2	1417 やかもち	11	2627	
115	2	1421 ひろかはの女わう	4	694 広河女王	
116	2	1425 かさのかみむら	3	365 笠金村	
117	2	1429 ひとまる	7	1271 人麻呂歌集	人Ⅰ～Ⅲ／拾 910、作者は人麻呂
118	2	1439 かさの女わう	4	607 笠女郎	

No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号	作者名	作者名	
119	3	1467	さかの郎女 イ	笠女郎	
120	3	1470	大女らうのこ	丹波大女娘子	
121	3	1491	ゆはらのおほきみ	湯原王	
122	3	1492	大どものさかのうへのらう女	大伴坂上郎女	永青文庫本「大どもの坂上のらう女」
123	3	1503	さかのうへのらう女 イ	大伴坂上郎女	永青文庫本「さかのうへのらう女」
124	3	1506	やかもち	大伴家持	萬は卷末尾に作者名を一括表示／六の次歌、次々歌も萬の家持歌(4190、4191)
125	3	1516	たかやすの大君	高安王	
126	3	1645	人丸	柿本人麻呂	永青文庫本「人まろ」／人Ⅰ～Ⅳ／新 301
127	3	1680	あか人	山部赤人	
128	3	1709	かさのかなむら	笠金村	六の次歌も萬の金村歌 (909)
129	3	1741	やかもち	大伴家持	
130	3	1743	おおどものやすみ	大伴豫見	
131	3	1774	なかのいきまろ	長意吉麻呂	
132	3	1782	やまくちの女わう	山口女王	
133	3	1796	山くちの女らう		永青文庫本「山くちの女わう」／新古今和歌集 1379、作者は山口女王。新古では萬の山口女王歌 (617) と同歌群
134	3	1805	人まろ ある本		
135	3	1809	たかふちのわうし	高市	萬の作者、高市黒人か
136	3	1811	ひとまろ	9 1784 角麻呂	萬 1783 左注「右二首柿本朝臣人麻呂之歌中出」
137	3	1813	つのまろ	3 294 角麻呂	秋萩帖 11 に類歌
138	3	1817	たかちのくろまろ	3 272 高市黒人	古 1073
139	3	1818	人まろ		古 409 左注「このうたはある人のいはく柿本人麿か歌なり」／新 341／人Ⅰ 217・Ⅱ 213・Ⅲ 614
140	3	1819	さみませい		六の次々歌は萬葉歌 (351)。作者は沙弥満誓
141	3	1845	あか人	3 363 山部赤人	
142	3	1857	ゆけのわうし	2 121 弓削皇子	萬は或本歌

No.	六 帖		萬葉集		備 考
	巻	番号	作者名	作者名	
143	3	1858	人まろ	11 2482 人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅴ／拾 640、作者は人麻呂
144	3	1893	人丸 イ本	1 40 柿本人麻呂	人Ⅰ～Ⅴ／拾 493、作者は人麻呂
145	3	1897	さかのうへのらう女	6 964 大伴坂上郎女	拾 1245、作者は大伴坂上郎女
146	3	1899	人まろ	7 1147	人Ⅱ・Ⅳ
147	3	1923	人まろ	9 1710 柿本人麻呂	萬 1711 左注「右二首或云柿本朝臣人麻呂作」／人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ／拾 1123、作者は人麻呂
148	3	1926	あか人	6 1001 山部赤人	
149	3	1934	人まろ	4 496 柿本人麻呂	人Ⅰ～Ⅴ／拾 668、作者は人麻呂
150	3	1949	人まろ	7 1150	人Ⅱ・Ⅳ
151	3	1964	たなひのせた人 たちまの命婦 イ	9 1726 丹比真人	萬、丹比某かは不明
152	3	1970	いしかはのおほきみ かはらの左大臣 イ	3 247 石川大夫	萬左注で石川宮麻呂か石川吉美かと作者を推定
153	4	1981	オホトモノモヽヨ イ	4 560 大伴百代	人Ⅲ／拾 685、作者は大伴百世
154	4	1982	さかのうへの大娘 或本	4 738 大伴家持	萬題詞は「又家持和坂上大嬢歌二首」
155	4	1988	かさのらう女 ある本	4 596 笠女郎	拾 889／新 232
156	4	1990	カサノニラウ	11 2371 人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／六の前々歌の作者は「かさのらう女 ある本」／六の作者名表記は歌の後にあり／人Ⅲ
157	4	1997	人丸 ある本	11 2370 人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ／拾 937、作者は人麻呂
158	4	2001	かさのらう女 ある本 カサノニヨラウ イ	4 605 笠女郎	六の前歌も萬の笠女郎歌 (595)
159	4	2002	なかとみのらう女	4 678 中臣女郎	
160	4	2003	やかもち ある本	4 748 大伴家持	六の 2004、06、07、08 は萬の家持歌 (750、51、53、55)
161	4	2007	ヤカモチ イ	4 753 大伴家持	六の作者名表記は歌の後にあり
162	4	2010	カヘシ イ	11 2539 人麻呂歌集 14 3470	六の前歌、萬 3271。題詞「反歌」／人Ⅲ

六帖			萬葉集			備考
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	
163	4	2017	かさのらう女 ある本	4	2390	萬 603 (作者は笠女郎) の類歌／人 I ～V／拾 935、作者は人麻呂
164	4	2028	とねりのわうし 或本	2	117	人麻呂歌集
165	4	2038	よみ人しらすある本	11	2812	舎人皇子
166	4	2060	ふちはらのうかふのえう ある本	9	1729	藤原宇台
167	4	2062	さかのうへのらう女 ある本			六の次々歌は萬葉歌 (359)。作者は笠女郎
168	4	2064	さかのらう女 カサノニヨラウ	3	396	笠女郎
169	4	2072	カサノニヨラウ イ	4	602	笠女郎
170	4	2073	かさの女らう やかもちども ある本	4	752	大伴家持
171	4	2161	人丸	11	2497	人麻呂歌集
172	4	2168	田部忌寸櫓子	4	494	田部櫓子
173	4	2321	人丸	9	1683	人麻呂歌集
174	4	2326	人まる	7	1118	人麻呂歌集
175	4	2363	きのらう女			萬 544 に類歌 (作者は笠金村)
176	4	2364	人まる 三つ	2	133	柿本人麻呂
177	4	2389	人丸	13	3236	娘子
178	4	2409	ゆけいのおほきみ ある本	4	634	有間皇子
179	4	2410	ありまのわうし 或本	2	142	有間皇子
180	4	2446	人丸	2	222	柿本人麻呂
181	4	2452	或本 人丸	2	197	柿本人麻呂
182	4	2500	かさのかなむら	4	546	笠金村
183	4	2501	山のへのあか人	4	317	山部赤人
184	4	2502	あか人	4	324	山部赤人

No.	巻 番号	六 帖 作者名	萬葉集			備 考
			巻	番号	作者名	
185	5 2528	なかとみの女郎	4	677	中臣女郎	
186	5 2549	人まろ	4	501	柿本人麻呂	人Ⅲ／拾 1210、作者は人麻呂
187	5 2575	人まろ				
188	5 2583	人丸	11	2461	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ
189	5 2584	おほとものさかめの上の郎女	4	661	大伴坂上郎女	
190	5 2599	やかもち	3	414	大伴家持	
191	5 2600	おほともするか丸	3	402	大伴駿河麻呂	
192	5 2601	するか丸	3	400	大伴駿河麻呂	
193	5 2603	やかもち	7	1347		
194	5 2609	やかもち	20	4457	大伴家持	
195	5 2610	みしまの王女	2	115	但馬皇女	
196	5 2615	なかとみの女郎	11	2779		
197	5 2620	あへの女郎	4	505	安倍女郎	歌 16、作者は但馬内親王
198	5 2626	山くちの女王	4	614	山口女王	
199	5 2628	ひとまろ				人Ⅱ 364・Ⅲ 504・Ⅳ 31
200	5 2644	人丸	11	2382	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅴ
201	5 2652	人丸	11	2432	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」人Ⅰ・Ⅲ
202	5 2684	ほつみの王子	2	116	但馬皇女	萬題詞「但馬皇女在高市皇子宮時竊接穗積皇子事既形而御作歌一首」
203	5 2685	人まろ				人Ⅲ 266・Ⅳ 41
204	5 2686	やかもち	17	3935	大伴家持	
205	5 2687	人丸				萬 2267 に類歌 (作者未詳)
206	5 2688	ふちはらのやつか	8	1570	藤原八束	
207	5 2694	人まろ				萬 2816 に類歌 (作者未詳)／人Ⅱ 368・Ⅲ 311
208	5 2695	大伴さかの上如女	8	1484	大伴坂上郎女	拾 120、作者は大伴坂上郎女
209	5 2696	かさのかなむら	4	575	大伴旅人	

六帖			萬葉集		
No.	巻 番号	作者名	巻 番号	作者名	備考
210	5 2698	人まろ			人Ⅱ 381・Ⅳ 553・Ⅳ 86
211	5 2703	人まろ	9 1693	人麻呂歌集	萬 1709 左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集所出」
212	5 2709	きの王女	3 390	紀皇女	
213	5 2718	ゆはらの大君	3 377	湯原王	
214	5 2722	あへのむしまろ	4 665	安倍虫麻呂	
215	5 2741	たかたの女王	4 540	高田女王	
216	5 2750	人丸	11 2391	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ
217	5 2752	ひとまろ	9 1762	柿本人麻呂	萬左注「右件歌或云柿本朝臣人麻呂作」／人Ⅲ
218	5 2753	ゆはらの大君	4 638	湯原王	
219	5 2756	人丸	11 2381	人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ
220	5 2762	人丸			人Ⅱ 233・Ⅲ 290・Ⅳ 18
221	5 2765	いしかはの女王	4 518	石川郎女	
222	5 2766	いけのうへの大君	4 623	池辺王	
223	5 2773	人丸	11 2583		人Ⅰ～Ⅴ／拾 744、作者は人麻呂
224	5 2776	人丸			人Ⅱ 522・Ⅲ 555・Ⅳ 27
225	5 2781	おほともの郎女	4 535	安貴王	六 2780 (は萬葉歌 (590)、題詞「笠女郎贈大伴宿禰家持歌廿四首」(587～610)／六 2778 は萬葉歌 (525)。作者は大伴郎女
226	5 2788	やかもち	17 3981	大伴家持	萬 3082 左注「右三月廿日夜裏忽今起戀情作大伴宿禰家持」
227	5 2789	いそのかみのまちの卿	3 287	石上卿	萬、石上某かは不明
228	5 2790	人丸			人Ⅱ 234・Ⅲ 439・Ⅳ 33
229	5 2792	あへのむし丸	8 1577	安倍虫麻呂	萬 1578 左注「右二首阿倍朝臣虫麻呂」
230	5 2797	やかもち	8 1596	大伴家持	家 96
231	5 2834	おほともの郎女	4 527	大伴郎女	
232	5 2848	きの女郎	8 1452	紀女郎	
233	5 2855	さくらみの大君	8 1614	桜井王	



No.	巻	番号	六帖		巻	番号	萬葉集		備考
			作者名	作者名			作者名	作者名	
234	5	2877	人丸		10	2243	人麻呂歌集		萬左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集出」／六の作者名表記は歌の上にあり／人Ⅱ～Ⅳ／家128
235	5	2892	あめのみかと		4	624	天皇（聖武天皇）		
236	5	2900	ありまのみこ		2	141	有間皇子		
237	5	2901	ならのいき丸		2	143	長意吉麻呂		
238	5	2902	人丸		2	146	人麻呂歌集	人Ⅲ	
239	5	2905	ひとまろ		4	498	柿本人麻呂	人Ⅲ	
240	5	2923	おほどものみより		4	650	大伴三依		
241	5	2925	人丸		10	1895	人麻呂歌集		萬1896左注「右柿本朝臣人麻呂歌集出」／人Ⅲ
242	5	2926	人丸		11	2430	人麻呂歌集		萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
243	5	2936	人丸		11	2428	人麻呂歌集		萬2516左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
244	5	2937	おほどものかたみ		4	699	大伴像見		
245	5	2954	かきの女郎		4	595	笠女郎		六の次歌も萬の笠女郎歌（587）／六の作者は「あへのやすとき」六の次歌は萬の人麻呂歌集歌（2416）／人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／歌13（上句のみ）、作者は紀末在判事／拾990、作者は人麻呂
246	5	2958	人丸		11	2648			
247	5	2972	かもの女王		4	565	賀茂女王		
248	5	2982	おほどものやすまろ		4	517	大伴安麻呂		萬の題詞は「大納言兼大將軍大伴卿歌一首」／人Ⅳ
249	5	2986	人丸						
250	5	2988	やかもち		4	765	大伴家持		
251	5	2997	やかもち		4	742	大伴家持		
252	5	3003	ゆけの王し		2	122	弓削皇子		
253	5	3006	かきの女郎		4	598	笠女郎		
254	5	3007	いしかはのらう女		2	98	石川郎女		
255	5	3017	人丸		11	2602			六、伝九条教家筆切に作者名あり／人Ⅳ
256	5	3030	人丸						人Ⅱ519・Ⅲ381・Ⅳ29
257	5	3035	人丸 作者不詳						古620。次歌左注「このうたはある人のいはく柿本人麿か歌なり」
258	5	3036	人丸						人Ⅱ10・Ⅲ33・Ⅳ23

No.	六帖		巻	番号	作者名	備考
	巻	番号				
259	5	3039	人丸	11	2478 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
260	5	3040	人丸	11	2395 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ
261	5	3042	あか人 きの女郎とも	10	1822	人Ⅱ～Ⅳ／拾 819、作者は人麻呂
262	5	3049	人丸	11	2513 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅰ～Ⅴ／拾 826、作者は人麻呂
263	5	3061	あめのみかと	11	2710	古墨酒歌に類歌 (1108)。左注 「この歌ある人あめのみかとのあふみのうねめにたまへると」／元永本古今集は六と歌句同じ
264	5	3062	きの女郎	4	731 大伴坂上大嬢	
265	5	3063	かみみの王女	2	93 鏡王女	
266	5	3082	やかもち	4	718 大伴家持	
267	5	3088	人丸	11	2600	人Ⅱ・Ⅳ
268	5	3091	ひとまろ			人Ⅲ 496・Ⅳ 56
269	5	3100	たかたの女王	4	539 高田女王	
270	5	3101	かさの女郎			
271	5	3102	おなし人 (かさの女郎)	11	2465 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／六の次歌は萬葉歌 (656)。作者は大伴坂上郎女／夫木抄は出典六、作者は坂上郎女／人Ⅰ～Ⅴ／拾 845、作者は人麻呂
272	5	3120	かさの女郎	4	600 笠女郎	
273	5	3127	たかたの女王	4	541 高田女王	
274	5	3132	かさの女郎	4	587 笠女郎	
275	5	3147	かさの女郎	4	591 笠女郎	
276	5	3153	ゆはらの大君	3	376 湯原王	
277	5	3162	さかの上の大姫	8	1624 坂上大嬢	
278	5	3163	やかもち	8	1625 大伴家持	
279	5	3167	人丸			萬 87、89 に類歌 (作者は磐姫皇后。89 は或本歌)／人Ⅱ 374
280	5	3182	人丸	11	2500 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ

No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号 作者名	巻	番号 作者名	
281	5	3184 おほとものするか丸	4	409 大伴駿河麻呂	
282	5	3190 文武天皇	9	1665 岡本天皇 (舒明天皇)	萬 1667 題詞「大寶元年辛丑冬十月太上天皇大行天皇幸紀伊國時歌十三首」。大行天皇は文武天皇をさす
283	5	3196 人丸	7	1301 人麻呂歌集	萬 1310 左注「右十五首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ・Ⅳ
284	5	3197 人丸	7	1302 人麻呂歌集	萬 1310 左注「右十五首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ～Ⅳ
285	5	3208 きの女郎	4	763 紀女郎	
286	5	3221 さかのうへの郎女	4	673 大伴坂上郎女	
287	5	3222 人丸	11	2633 駿河采女	萬 2634 左注「右一首上見柿本朝臣人麻呂之歌中也」／人Ⅳ
288	5	3232 するかのうねへ	4	507	
289	5	3236 人丸	11	2549	人Ⅱ・Ⅳ
290	5	3252 人丸	11	2547	人Ⅳ
291	5	3279 人丸	11	2411 人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
292	5	3316 丸卿	7	1195 藤原卿	萬左注「右七首者藤原卿作」。「藤原卿」を藤原麻呂と判断したか
293	5	3336 人丸	11	2429 人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
294	5	3344 人丸			人Ⅱ 385・Ⅲ 443・Ⅳ 105 に類歌
295	5	3353 人丸	9	1789 笠金村	
296	5	3361 やかもち	11	2628	人Ⅳ
297	5	3416 き的女郎	11	2640	人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／拾 1196、作者は人麻呂
298	5	3421 人丸			人Ⅱ 361・Ⅳ 26
299	5	3425 人丸			人Ⅱ 380・Ⅲ 588・Ⅳ 83
300	5	3436 かの女郎	4	604 笠女郎	
301	5	3471 丸卿	7	1222 藤原卿	萬左注「右七首者藤原卿作」。「藤原卿」を藤原麻呂と判断したか／萬の排列、1218・1219・1220・1221・1222・1194・1195 と続く／人Ⅱ・Ⅳ
302	5	3472 人丸	7	1136	人Ⅱ・Ⅳ
303	5	3506 かの女郎	3	395 笠女郎	
304	5	3525 人丸	11	2406 人麻呂歌集	萬 2516 左注「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅱ・Ⅲ

六帖			萬葉集		
No.	巻	番号 作者名	巻	番号 作者名	備考
305	5	3530 人丸	11	2405 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／ⅧⅢ
306	6	3572 人丸	11	2475 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／ⅧⅢ
307	6	3575 さかの女郎	4	594 笠女郎	
308	6	3593 人丸	11	2468 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／ⅧⅢ
309	6	3617 やかもち	8	1496 大伴家持	
310	6	3618 やかもち	8	1448 大伴家持	後 199 に類歌
311	6	3636 やかもち			萬 1622 に類歌 (作者は大伴田村大嬢)
312	6	3637 やかもち	8	1565 大伴家持	
313	6	3638 ゆはらの大君	8	1618 湯原王	家 223
314	6	3639 人丸			古 211／拾 1119／新 28／ⅧⅡ 87・Ⅲ 173
315	6	3647 ゆはらの大君	2	120 弓削皇子	
316	6	3648 大とものさかの上女郎	8	1560 大伴坂上郎女	
317	6	3693 かなむら	8	1533 笠金村	
318	6	3709 ひおきのなかすかむすめ	8	1564 日置長枝娘	
319	6	3710 いしかはのひろなり	8	1601 石川広成	
320	6	3711 人丸	7	1121	萬 1119 左注 「右二首柿本朝臣人麻呂之歌集出」
321	6	3791 やかもち	16	3837 右兵衛	某かは不明
322	6	3811 おほとものかたみ	4	697 大伴像見	
323	6	3824 人丸	7	1249 人麻呂歌集	萬 1250 左注 「右四首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／ⅧⅢ
324	6	3827 人丸	7	1352	ⅧⅠ・Ⅱ・Ⅳ
325	6	3834 人丸	11	2504 人麻呂歌集	萬 2516 左注 「以前一百四十九首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／ⅧⅢ
326	6	3861 左大臣たちはなのもろへ	20	4455 葛城王	葛城王は橘諸兄の旧名
327	6	3862 命婦	20	4456 薩妙觀命婦	
328	6	3865 おほとものなかまる	3	407 大伴駿河麻呂	
329	6	3866 するか丸	14	3576 東歌	六の前歌、萬の作者は大伴駿河麻呂
330	6	3870 左大臣もろえ	19	4270 橘諸兄	萬左注 「右一首、左大臣橘卿」
331	6	3887 みまかりの内大臣	2	94 藤原鎌足	

No.	六帖		萬葉集		備考
	巻	番号 作者名	巻	番号 作者名	
332	6	3894 やかもち	8	1630 大伴家持	
333	6	3898 人丸			古 505、新 326 に類歌。
334	6	3899 むらまつ	8	1578 安倍虫麻呂	萬左注「右二首阿倍朝臣虫麻呂」
335	6	3900 あめのみかと	8	1540 天皇（聖武天皇）	
336	6	3904 ほつみの王子	8	1514 穗積皇子	
337	6	4089 人丸	10	2194	人Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ／家 244／後 359
338	6	4113 人丸			古 671 に類歌。左注「このうたはある人のいはくかきのもとの人まろかなり」／人Ⅰ 185・Ⅱ 315・Ⅲ 352・Ⅴ 24
339	6	4116 やかもち	19	4291 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示
340	6	4145 やかもち	8	1656 大伴坂上郎女	
341	6	4211 人丸			人Ⅱ 26・Ⅳ 97。Ⅲ 228・229 に類歌あり
342	6	4212 おなし 人（人丸）			古 69／人Ⅱ 25・Ⅳ 110 に類歌あり
343	6	4236 人丸			人Ⅰ 171・Ⅱ 27・Ⅲ 90
344	6	4237 あか 人	8	1471 山部赤人	
345	6	4254 やかもち	8	1508 大伴家持	
346	6	4258 たか 人（やかもち）	6	1027 豊島采女	萬左注「右一首右大辨高橋安麻呂卿語云故豊嶋采女之作也」
347	6	4261 人丸	7	1099	萬 1101 左注「右二首柿本朝臣人麻呂之歌集出」
348	6	4272 やかもち	19	4140 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示
349	6	4280 人丸	9	1773 人麻呂歌集	萬 1775 左注「右三首柿本朝臣人麻呂之歌集出」／人Ⅲ
350	6	4300 やかもち	19	4152 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示
351	6	4301 おなし（やかもち）	20	4481 大伴家持	萬左注「右兵部少輔大伴家持属植鹿作」
352	6	4309 人丸	9	1694 人麻呂歌集	萬 1709 左注「右柿本朝臣人麻呂之歌集所出」
353	6	4326 やかもち	19	4143 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示
354	6	4327 おなし（やかもち）	19	4159 大伴家持	萬は巻末尾に作者名を一括表示
355	6	4328 おなし（やかもち）	10	1867	人Ⅲ
356	6	4353 あかひと	6	919 山部赤人	赤 352／和 451、作者は赤人
357	6	4354 人丸	11	2768	人Ⅱ・Ⅳ

六帖			萬葉集			
No.	巻	番号	作者名	巻	番号	作者名
358	6	4356	人丸三首			古 210
359	6	4357	(人丸三首)			人Ⅱ 150・Ⅲ 178・Ⅳ 113
360	6	4358	(人丸三首)	10	2134	人Ⅰ・Ⅱ
361	6	4360	やかもち	8	1566	大伴家持
362	6	4376	人まろ	10	2128	永青文庫本「人丸」／人Ⅰ・Ⅱ
363	6	4384	あかひと二首	8	1431	山部赤人
364	6	4385	(あかひと二首)	10	1820	人Ⅲ
365	6	4414	おはたのひろせ	8	1468	小治田広瀬王
366	6	4417	大伴 大綱言	8	1473	大伴旅人
367	6	4419	おほとものよなは	8	1499	大伴四繩
368	6	4421	くめのくろなは	19	4203	久米広繩
369	6	4459	おほとものさかの上郎女	4	526	大伴郎女
370	6	4460	おほともの女らう	4	618	大神女郎
371	6	4463	あか人	10	1828	人Ⅲ
372	6	4464	おほとものさかの上郎女	8	1447	大伴坂上郎女
373	6	4467	王子	8	1419	鏡王女